

倫理委員会委員名簿

(院内委員)

	委員長	院長	進藤政臣
◎	副委員長	副院長	大澤道彦
	委員	診療部長	滋野 俊
	委員	救急部長	佐々木康之
	委員	教育研究センター部長	水沢弘哉
	委員	医療安全管理部長	田中征雄
	委員	医療情報部長(併:副院長)	
	委員	看護部長	土井三枝子
◎	委員	事務部長	野村俊正
	委員	薬剤科長	鎌谷道生
◎	委員	臨床研究部長	水沢弘哉
			◎ 迅速審査委員

(外部委員)

	委員	花岡法律事務所	花岡正人
	委員	信州大学	玉井眞理子

審議内容

■倫理審査委員会 平成21年5月21日(木)

申請者	泌尿器科医長	水沢弘哉
課題	下腹部腫瘍への腫瘍摘出手術または膀胱部分切除術の宗教的輸血拒否について	
研究の概要	<p>本症例は下腹部腫瘍への腫瘍摘出手術または膀胱部分切除術の宗教的輸血拒否である。患者は過去に子宮筋腫で摘出手術をうけており、近医で高血圧の治療を受けていた経過での超音波検査で下腹部に腫瘍が認められ、MRIの精査で尿膜管腫瘍の疑いがあると当科へ紹介された。当院においてMRI、CTでは膀胱の正中前方に4～5cmの腫瘍が存在するが、通常の膀胱癌ではないこと、検尿は異常無く、術前検査のリスクは特にない。全身麻酔下で腫瘍摘出手術または膀胱部分切除術を予定しており、手術時間は約2時間、出血量は200～300g</p> <p>本人の同意能力は十分にあり、2人の子供も同意した旨も示すサインがある「輸血謝絶兼免責書」「医療に関する継続的委任状」の提出がされている。提出された書面中、子供の年齢と医療に関する第2順位の代理人の関係については確認することを指示した。また本件手術の予想外の出血について、その確率と根拠とともに輸血が必要となる事態になることを説明。またその回避として、より高度な医療が提供できる病院へ転院できる選択肢があることを伝える。以上を診療録に説明した時間、場所、立ち会い者等と共に記載することとした。</p>	
判定	承認 本審査は全一致で承認された。	